

！ 一般注意事項

製品を安全にご使用いただくためにご使用前に必ずお読みください。

お客様の安全、ご使用機器の安全確保のため、以下の注意事項、ならびに各製品分類別の取扱い注意事項を厳守して、ご使用くださいますようお願い申し上げます。尚、ご使用に際しましてご不明な点はお客様相談窓口までお気軽にお問い合わせください。

ご使用上の注意事項

- 製品仕様をご確認の上、ご使用ください。
- 取り付けや結線作業時に取り外した端子ねじ、取り付けナット等は、紛失せぬよう取り扱いに注意してください。
- 製品や包装箱等を廃棄する場合は、条例など法規制を遵守し、処理してください。
- はんだ付けの可否は、使用する機器や実装される基板などの実条件に左右されますので、実装条件によるご確認を行った上、ご使用ください。
- はんだこてを使用したはんだ付けの場合、こてを必要以上の荷重で端子に押し当てないでください。
- 定格電圧、定格電流の範囲内でご使用ください。

弊社のヒューズホルダーをご使用の際は、ヒューズホルダーの「**取扱い注意事項**」をご参照の上、ディレーティングを行ってご使用ください。

- 端子台、その他製品につきましても定格電流の30%以上のディレーティングを行ってのご使用をお勧めします。（定格の70%以下でのご使用）
例：定格電流10A→7A以下でのご使用をお勧めします。
- ご使用の際は実装機器での作動を十分ご確認の上、ご使用ください。
- 製品に極性表示があるものは極性表示通りにご使用ください。
- 高品質・高信頼性が要求され、故障や誤動作が直接人命を脅かし、人体に危害を及ぼす恐れのある装置（原子力制御・航空宇宙機器・交通機器・医療機器・各種安全装置、等）にご使用になる場合は、事前に別途ご相談ください。
- 結線がねじ締め方式の場合、振動や使用環境の温度変化等によりねじの締め付けに緩みが発生し、接触不良、発熱の原因となることがありますので、定期的に増し締めを行ってください。
- はんだ付けは短時間で行ってください。
- 感電の危険を避けるため、通電中に手を触れることができないような設置方法を考慮してご使用ください。
- 充電部の露出した部分に導電性のものが落下、接触すると、短絡の危険性がありますのでこれらのものが落下、接触しないよう、さらに、落下しても安全のように機器設計上の対策を考慮してご使用ください。
- 取り付けて使用することを意図している製品は、必ず強固な部材に固定してご使用ください。
- 製品は、周囲のものとの絶縁距離を十分に確保して設置・ご使用ください。
- 製品にねじがついているものは、それ以外のねじは使用しないでください。
- 圧着端子をご使用の際は端子幅（絶縁壁間）とねじ径および接続する電線に合ったものをお選びください。
- 差し込み式端子（例：ML-40-S1AXF、F-710-B、BN-2等）をご使用の際は、レセプタクル挿抜時に無理に左右にこじったりしないでください。
- 各製品とも、その構造、性能、特性などを十分ご理解の上でご使用ください。製品とマッチしない条件でのご使用は、思わぬ事故の原因となることがあります。
- 製品に接続する電線や、圧着端子、その他のものは、使用条件（電圧、電流をはじめとするあらゆる条件）に対して余裕を持ったものをご使用ください。
- 同じ電圧定格であったとしても、製品によって異なる絶縁距離を持っています。最終用途にてお客様が必要とされる距離を製品が満足していることをご確認の上ご使用ください。
- 結線しないねじについても、0.2～0.3N・mのトルクにて締め付けてください。（製品によっては異なる場合があります。個別の仕様をご確認ください。）
- 各製品とも、本来の目的以外に使用しないでください。
- 分解、改造は行わないでください。
- 実装後の洗浄については、各製品の注意事項をご確認ください。
- 定格表記についてAC、DCの表記の無いものはどちらにもご使用できます。

ご使用、保管環境について

- 各製品は全て屋内使用を目的として設計されております。屋外でのご使用、保管はできません。
- 直射日光の当たる場所、結露や氷結の発生する場所でのご使用、保管は避けてください。
- 振動や、衝撃が加わる環境でのご使用、保管は避けてください。
- 高温、低温、多湿、塵埃等の多い環境や水、各種油、薬品（洗剤含む）、腐食ガス等がかかるような環境でのご使用、保管は避けてください。
- お子様の手の届かないところで保管してください。

プラスチック部のお手入れについて

- 製品のプラスチック部等が汚れた時の手入れの際には、乾いた布等で拭いてください。使用溶剤（洗剤等含む）によってはプラスチックにクラック、破壊等が発生することがあります。ご注意ください。

本ホームページについて

- 本ホームページは、お客様に製品の内容を一次情報として提供させていただくものです。利便性を最優先して編集されております関係で、必要十分な情報が掲載されていない場合があります。そのため、内容を理解する際に誤解の生じる場合も考えられ、また、万全を期して編集しておりますが、万一の記載漏れや誤植（ミス）の可能性も含めて、ご採用検討・決定時には図面・仕様書等の資料をご請求の上ご確認ください。

！ヒューズホルダー 取扱い注意事項

製品を安全にご使用いただくために、一般注意事項とヒューズ管取扱い注意事項をあわせてお読みください。

ご使用に際しましてご不明な点は、お客様相談窓口までお気軽にお問い合わせください。

ご使用上の注意事項 (1/2)

- 製品仕様をご確認の上、ご使用ください。
- 分解、改造は行わないでください。
- 弊社のヒューズホルダーの定格電流は、以下の条件を基準に定めております。(イ、またはロの方法による)

周囲温度40℃以下

	イ	ロ
ヒューズ管	ダミーヒューズ (銅+Niめっき)	B種ヒューズ管
温度上昇	30K以下であること	65K以下であること
負荷	抵抗負荷	
使用電線	0～ 5A…0.5 mm ² ～ 7A…0.75mm ² ～10A…1.25mm ² ～15A…2.0 mm ² ～20A…3.5 mm ² ～30A…5.5 mm ²	

- ご使用に際しては通常30%以上の電流ディレーティングが必要です。
例：負荷電流7A、使用ヒューズホルダーの定格10A
- ご使用の際には実装機器での通電および短絡試験等、作動確認を十分に行った上でご使用ください。
- 弊社のヒューズホルダーは航空機器、医療機器等の極めて高度な信頼性が要求される機器への使用を意図したものではありません。ご使用になる場合は、事前に別途ご相談ください。
- 使用ヒューズ管は、必ずヒューズホルダーに適合するヒューズ管をご使用ください。不適合サイズでのご使用は、接触不良や焼損の原因となります。特にφ6.4×30mmとφ6.35×31.8mmとは混同しやすいのでご注意ください。
- 使用周囲温度は原則として-5℃～40℃です。この範囲でご使用ください。
- ヒューズ管の脱着は感電防止のため、必ず電源がOFFの状態で行ってください。また、脱着時にごみ等が入り込まないようにご注意ください。
- 筒型ヒューズホルダーの製品には底部端子が可動するものがあります。(F-4000-A等)
これらの製品に関しては、接続電線に余裕を持たせてください。特に束線等により端子の動きを妨げないようにご注意ください。回路瞬断、不導通となり、焼損の原因となることがあります。このことから配線に単線はご使用にならないでください。
- ご使用になるときは、ヒューズ管が確実に装着されていることを、必ずご確認ください。
- 筒型ヒューズホルダーのツマミは、ねじ式の場合は必ず最後まで締まっているかご確認ください。また、パイヨネット式のツマミは完全に本体側に装着されていることをご確認ください。
また、パイヨネット式の場合はツマミが上から押されない位置に取り付けてください。ツマミが押されると回路の瞬断、接触不良、焼損の原因となることがあります。
- 製品によって、溶剤や油類に弱い性質のものがあります。場合によってはクラックや割れが発生することがありますのでご注意ください。
- 中継タイプのヒューズホルダーは下図のように正しい配線をしてください。(F-800、F-810は除く)



- 中継タイプのヒューズホルダーをご使用の際は、リード線に張力を加えないでください。回路瞬断、不導通となり、焼損の原因となることがあります。
- 筒型ヒューズホルダーの底部端子にはんだ付けをする際は、フラックスおよびはんだが内部に流入しないよう向きや量にご注意ください。
- はんだ付け作業は、ヒューズ管が入っていない状態で行ってください。
- 結線がねじ締め方式の場合は、振動や使用環境の温度変化等により、ねじ締め付けに緩みが発生し発熱の原因となることがあります。定期的に増し締めを行ってください。

ご使用上の注意事項（2/2）

- 筒型ねじ式の場合には、文字位置は必ずしも寸法図に記載されている通りにはなりません。方向を確実にするには、筒型バイヨネット式からご選択ください。
- ヒューズ管の口金は清浄な状態にしてヒューズホルダーに装着してください。特に口金に素手で触れることは避けてください。
- ヒューズホルダーはツマミを外した際、内部の部品を汚さぬよう、また、異物が入らぬようにしてください。
- 一部の製品でツマミを外した際に「接触片」が露出するものがあります。これらのものは「接触片」を汚さぬよう、また、変形させぬよう注意してください。接触不良、異常発熱、焼損等の原因になります。（F-115、F-400、F-500、F-600等）
- 横型のヒューズホルダーは、特にヒューズクリップを素手で触れて汚さぬよう、また、変形させぬよう注意してください。接触不良、異常発熱、焼損等の原因になります。
- 横型のヒューズホルダーは、ヒューズ管を挿入する際、必要以上に押し込まないでください。ヒューズクリップの変形により接触不良、異常発熱、焼損等の原因になります。
- ナットでパネルに固定するタイプのものは、パネルの厚さによりパネルと端子間の絶縁距離が変化します。特に金属ナットの場合はヒューズホルダーが組み込まれる機器が必要とする絶縁距離を確保するよう十分ご注意ください。
- ご使用電圧・電流に合わせた製品の取り付け（絶縁距離の確保）、接続電線、プリント基板の銅箔パターンを考慮してください。
- ヒューズ管の取り外しは、こじらず真っ直ぐに行ってください。
- 各製品は全て屋内使用を目的として設計されております。屋外でのご使用、保管はできません。
- 直射日光の当たる場所、結露や氷結の発生する場所でのご使用、保管は避けてください。
- 振動や衝撃が加わる環境でのご使用、保管は避けてください。
- 高温、低温、多湿、塵埃等の多い環境や水、各種油、薬品（洗剤含む）、腐食ガス等がかかるような環境でのご使用、保管は避けてください。
- 詳細については、最新の図面、仕様書等ご請求の上、ご確認ください。本内容と個別の図面、仕様とが異なる場合、個別の図面、仕様が優先されます。